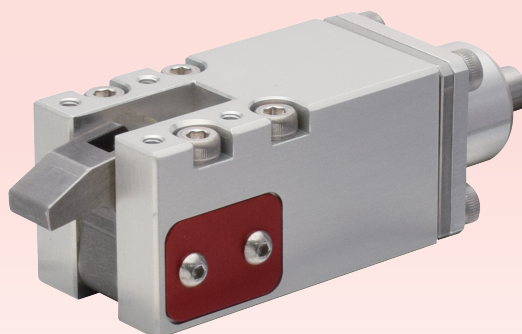


Reach Clamp

スマートシリーズ リーチクランプ

Model KSR



動力源を選ばないスマートシリーズ

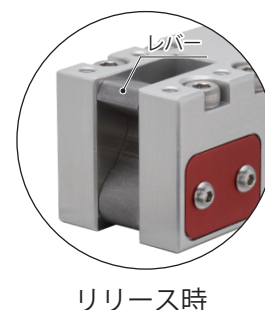
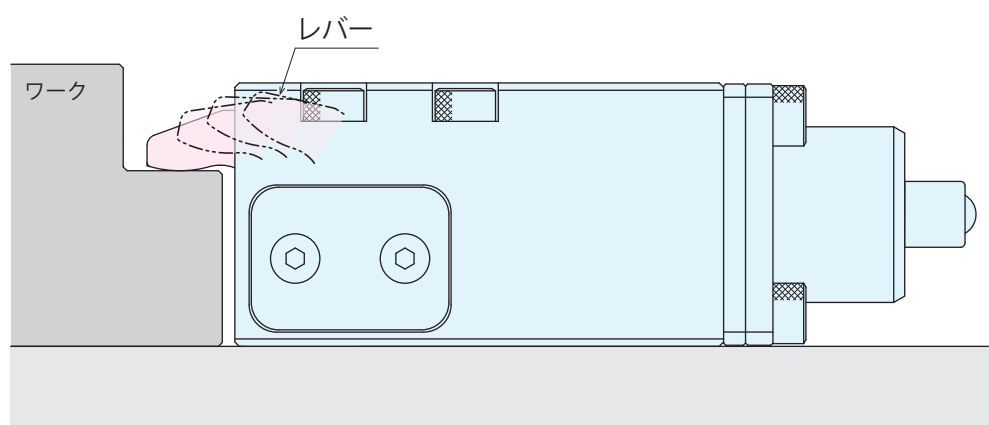
外力でリリース、バネ力でロックするメカ式クランプ

レバーが完全退避し、ワークの着脱が容易

PAT.P

特長

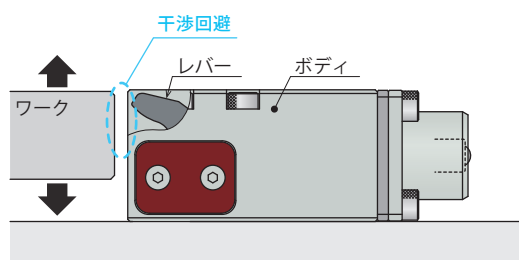
リリース時、レバーが完全退避。ワークの着脱が容易。



リリース時

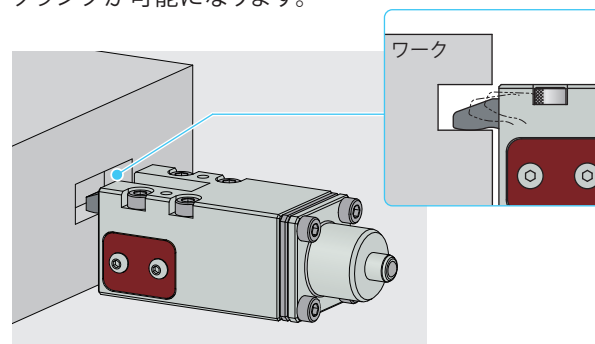
- レバーとワークの干渉回避

リリース時にレバーがボディ内に収納されるため、ワーク着脱時に干渉しません。



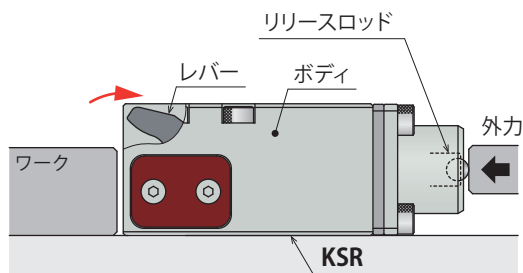
- クランプしにくい位置をピンポイントでクランプ

レバーの軌跡がコンパクトで、クランプが難しい箇所のクランプが可能になります。



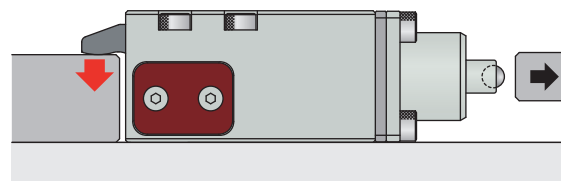
動作説明

外力でリリース



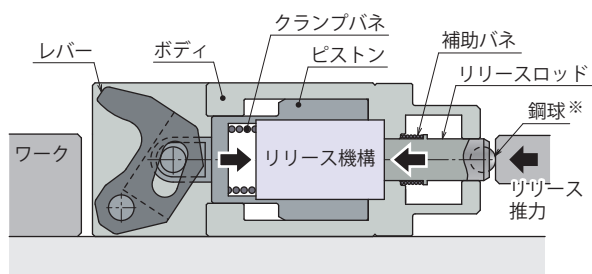
リリースロッドの押し込みでリリース。

バネでロック



押し込みを解除すると、バネ力でワークをクランプ。

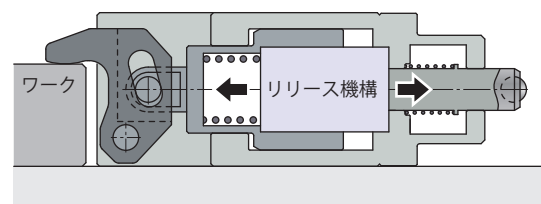
● 内部構造図



リリース状態

リリース推力をリリースロッドに加えると、ピストンが後退し、リリースします。

※銅球は、リリースロッドから抜けられない構造になっています。



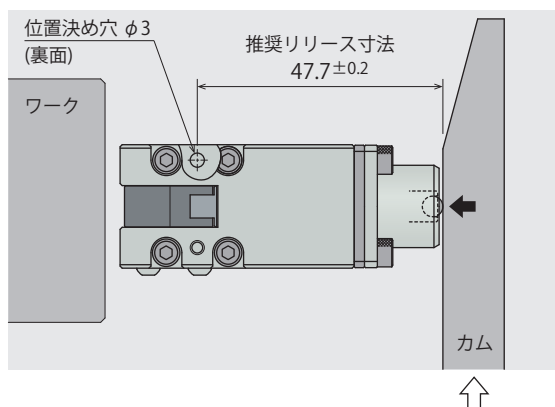
ロック状態

リリース推力を解除させると、内蔵バネ力によりピストンが前進し、ワークをロックします。

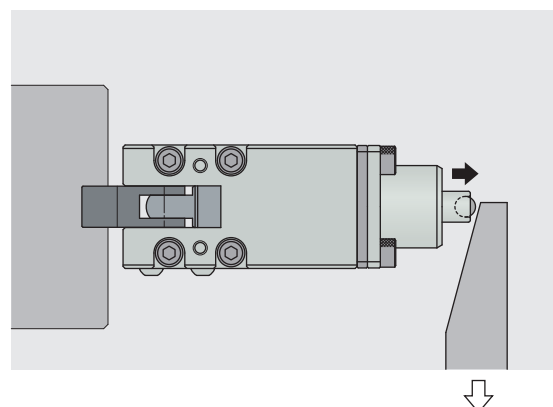
使用例

カムのスライドによる動作

リリース時



ロック時



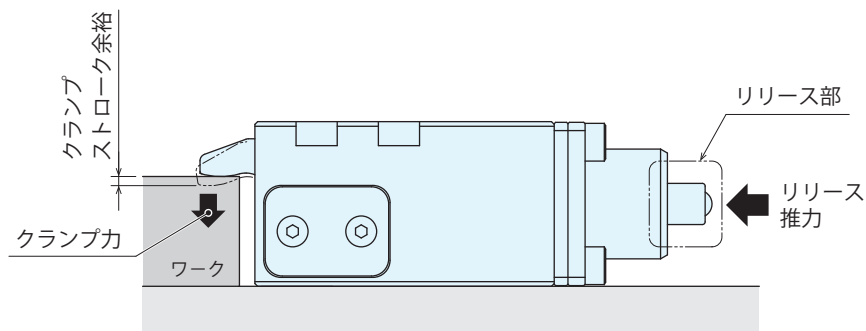
● 形式表示

KSR015 0**1****1** デザインNo.

0 : 製品のバージョン情報です。

● 仕様

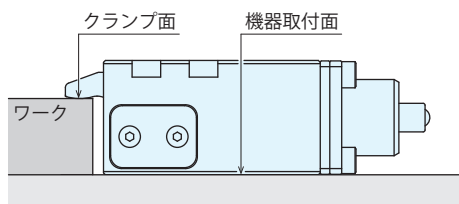
形式			KSR0150
クランプ力	N		約13
クランプストローク余裕	mm		1.0
リリース推力	最小	N	約50
	最大	N	約100
リリース部	全ストローク	mm	7.6
	リリースストローク	mm	6.3
	ストローク余裕	mm	1.3
使用温度	℃		0～120
質量	g		110



● 注意事項

● 設計上の注意事項

- 1) 仕様の確認
 - 本機器は、内蔵バネでロックし、リリースは外力を加えて行います。仕様範囲の力 (P.3 リリース推力参照) を加えてリリースさせてください。機器に仕様を超える無理な荷重を加えると、変形・かじりの原因になります。
 - 各製品の仕様をご確認の上、ご使用ください。
- 2) 機器取付面とクランプ面は平行にしてください。
 - 傾斜面のクランプは、ワークの位置ずれやクランプレバーの逃げが生じ、正常なクランプ動作ができません。



- 3) 保護カバーの取付け
 - クランプの可動部等が、人体に特に危険を及ぼす恐れのある場合は、保護カバーを設けてください。
(クランプ上部にサービスストップ (M2.5x0.45 ネジ) も設けています)
- 4) リリース外力の機構部について
 - クランプ背面よりリリース動作 (外力を加える) させる際、リリースロッド位置には部品製作上の個体差 (バラツキ) があるため、リリース機構によりシム等で位置調整をしてください。
- 5) 使用環境について

本製品には、機器内部への異物侵入を防止する機能はなく、クーラントや切粉等の異物が飛散する環境では使用できません。

● 取付施工上の注意事項

- 1) 本体の取付
 - 本体の取付は、六角穴付ボルトを 4 本使用して下表のトルクで締付けてください。また、機器が傾かないように均等に締付けてください。

形式	取付ボルト呼び	締付トルク (N・m)
KSR0150	M3×0.5	1.3

- 2) 試運転の方法
 - 施工直後は、動作速度が極端に速い場合、機器に重大な損傷を発生させる可能性があります。
動作速度を確認しながら行ってください。

● 取扱い上の注意事項

- 1) 十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
 - 機械・装置の取扱い、メンテナンス等は、十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- 2) 安全を確保するまでは、機器の取扱い、取外しを絶対に行わないでください。
 - ① 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置等がなされていることを確認してから行ってください。
 - ② 機器を取外すときは、上述の安全処置がとられていることの確認を行い、圧力源や電源を遮断し、外力が加わっていないことを確認してから行ってください。
 - ③ 運転停止直後の機器の取外しは、機器の温度が上がっている場合がありますので、温度が下がってから行ってください。
 - ④ 機械・装置を再起動する場合は、ボルトや各部の異常がないか確認した後に行ってください。
- 3) 動作中は、機器やワークに触れないでください。
 - 手を挟まれ、けがの原因になります。



- 4) 分解や改造はしないでください。
 - 内部に強力なバネが内蔵されており危険です。
分解や改造をされますと、保証期間内であっても保証ができなくなります。

● 保守・点検

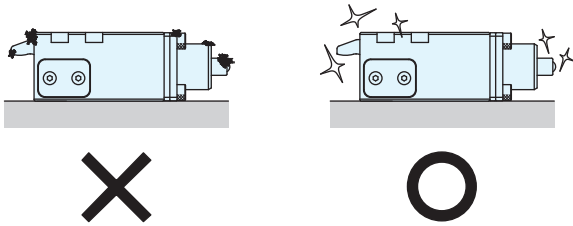
1) 機器の取外しと圧力源の遮断

- 機器を取外す時は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置等がなされていることを確認し、圧力源や電源を遮断して外力が加わっていないことを確認した後に行ってください。

- 再起動する場合は、ボルトや各部の異常が無いか確認した後に行ってください。

2) クランプ部は清浄な状態を保ってください。

- レバーや可動部表面に汚れが付着したまま使用すると、動作不良の原因となります。



3) 取付ボルトに緩みがないか定期的に増し締め点検を行ってください。

4) 動作はスムーズで異音等がないか確認してください。

- 特に、長期間放置した後、再起動する場合は正しく動作することを確認してください。

5) 製品を保管する場合は、直射日光・水分等から保護して冷暗所にて行ってください。

6) オーバーホール・修理は当社にお申しつけください。

- 内部に強力なバネが内蔵されており危険です。

● 保証

1) 保証期間

- 製品の保証期間は、当社工場出荷後 1 年半、または使用開始後 1 年のうち短い方が適用されます。

2) 保証範囲

- 保証期間中に当社の責任によって故障や不適合を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または、修理を当社の責任で行います。ただし、次の項目に該当するような製品の管理にかかわる故障などは、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ① 決められた保守・点検が行われていない場合。
- ② 使用者側の判断により、不適合状態のまま使用され、これに起因する故障などの場合。
- ③ 使用者側の不適切な使用や取扱いによる場合。
(第三者の不当行為による破損なども含みます。)
- ④ 故障の原因が当社製品以外の事由による場合。
- ⑤ 当社が行った以外の改造や修理、また当社が了承・確認していない改造や修理に起因する場合。
- ⑥ その他、天災や災害に起因し、当社の責任でない場合。
- ⑦ 消耗や劣化に起因する部品費用または交換費用
(ゴム・プラスチック・シール材および一部の電装品など)

なお、製品の故障によって誘発される損害は、保証の対象範囲から除外させていただきます。